

令和2年度共同募金助成結果報告

昨年度の共同募金は、県民の皆様のあたたかいご支援とご協力により、
募金総額は **1億6,720万214円** となりました。

ここに厚くお礼申し上げますとともに、助成結果についてご報告させていただきます。（※募金総額との差額は繰越金等を充当しています）。



福祉施設への助成

1,655千円

障がい者の自立のための社会
訓練、地域との交流事業などに

福祉団体への助成

26,761千円

障がいのある方の社会参加促進
支援やボランティアとの交流会、
高齢者の生きがいづくり、保育・子
育て相談、難病相談などに

社会福祉協議会への助成

72,476千円

ふれあいサロンの運営や福祉
マップの作成、地域見守り、移動困
難者への生活支援サービス、地域
ボランティア活性化、地域子育て
支援などに

テーマ型の活動への助成

319千円

地域や社会の解決したい課題を
明確化して行う募金活動（テーマ
型）により、豪雪地域の高齢者宅の
除雪や、地域食堂の起ち上げを支援
する活動に

募金運動推進経費

39,312千円

運動資材作成や広報活動、審査
会開催、事務局の運営費、全国的に
運動を展開するための中央共同
募金会分担金などに

大規模災害に備えた積立金

5,010千円

募金総額の3%を上限に積立て、
大規模災害が発生した場合、全国
から駆け付けるボランティアの活動
費や被災した福祉施設の破損復旧
などに

地域歳末たすけあい助成

20,797千円

在宅で暮らす高齢者や障がいの
ある方への給食サービスやお見
舞い、地域が主体となって行う、いき
いきサロンやふれあい会食会など
の地域ふれあい交流などに

NHK歳末たすけあい助成

8,782千円

福祉施設が行う年末年始のふれ
あい行事、障がいのある方々が就労
するための備品整備など地域福祉
課題を解決する事業などに

つながりをたやさない社会づくり活動助成

1,803千円

生活困窮者支援やいじめ、ひきこ
もり対策等に



あなたと私は、 赤い羽根でつながっている。

「あの人」を支えたい。困ったときはお互いさまだから。

その小さな思いが、街角から、ネットから、地域の住民から集まってくる。

意志あるお金は「あの人」を支えるための力となる。募金をする人、活動をする人、支えられる人。

みんな、赤い羽根でつながっているのですね。

意志あるお金、募金のチカラ。

赤い羽根共同募金



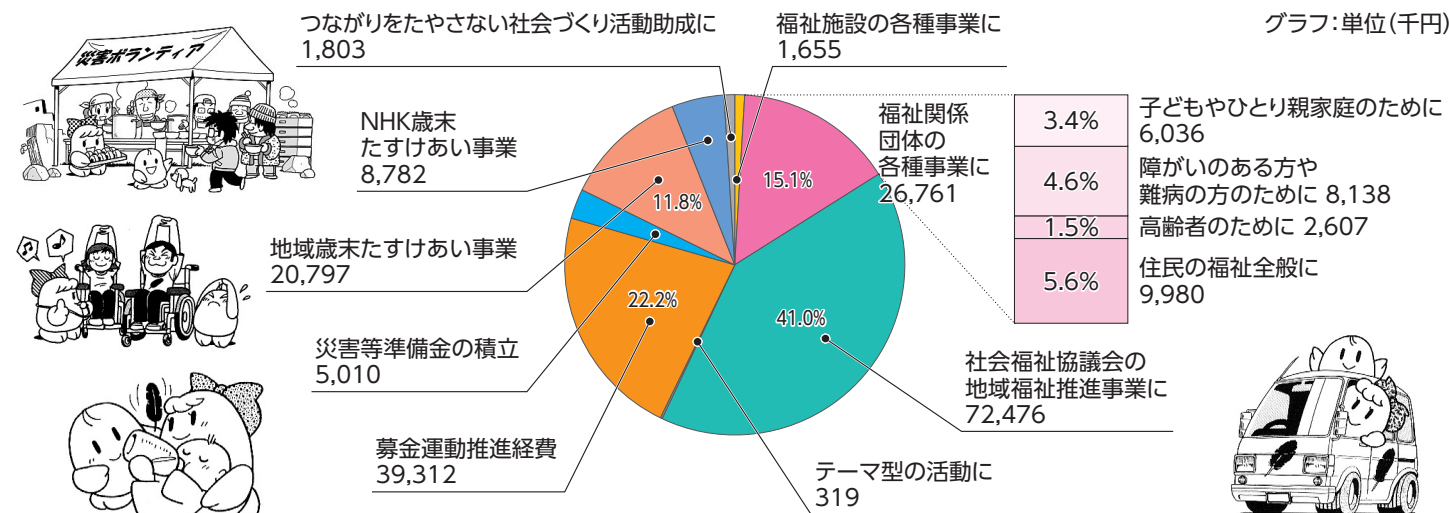
社会福祉法人
富山県共同募金会

令和3年度の目標額 **183,917,000円** 共同募金への寄付には税制上の特典があります。

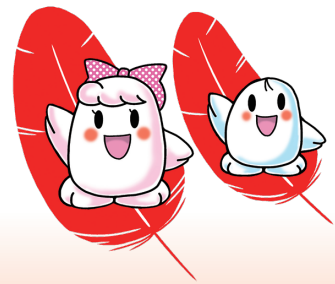
内訳 ■一般募金 149,917,000円(福祉施設や団体の事業に28,249,000円/地域福祉推進事業に76,356,000円/災害時に備えた積立に6,000,000円/運動推進経費 39,312,000円)
■NHK歳末たすけあい募金 13,000,000円 ■地域歳末たすけあい募金 21,000,000円

会社など法人の寄付金は、全額損金算入できます。個人の寄付金は、所得税の寄付金控除および住民税の寄付金税額控除が受けられます。詳しくは本会までお問い合わせください。

**MAKE
TOYAMA
STYLE**
BEYOND CORONA WITH US



お問い合わせはこちら または、あなたのまちの共同募金委員会へ
社会福祉法人 **富山県共同募金会** 〒930-0094 富山市安住町5番21号
info@akaihane-toyama.or.jp Tel 076-431-9800 Fax 076-432-6551



笑顔とともに、たくさんの「ありがとう」の声が届いています。



●●●● 寄付者の方々へのメッセージ（令和2年度事業より） ●●●●

共同募金の助成を受けた福祉施設や団体から、たくさんの感謝の声が寄せられていますので、その一部をご紹介します。



障害者の体力保持と文化教養のために 「社会参加促進事業」

（富山市 身体障害者協会）



富山ガラス工房や射水市陶房「匠の里」の教室にて芸術文化に触れ、できあがった作品を皆で鑑賞しあいました。募金をしてくださった皆様のおかげで、コロナ禍により社会参加が制限される中でも、障害者同士のつながりを途切れさせず絆を深めることができました。



一人暮らし高齢者の孤独感解消のために 「高齢者訪問支援活動事業」

（高岡市 老人クラブ連合会）



一人暮らし高齢者宅を訪問し、見舞い品等を持参して、孤独感を感じないよう声かけや見守り活動をしています。
今後とも一人暮らし高齢者が明るく元気に過ごせるよう活動していきますので、ご支援・ご協力をお願いいたします。



安心安全な地域社会の実現のために 「社会を明るくする運動」

（魚津市 魚津保護区保護司会）



7月を強調月間として、犯罪や非行の防止と、犯罪や非行をした人たちの更生について理解を深めるために広報活動をしています。
私たちひとり一人が過ちを犯した人の立ち直りを受け入れ、見守り、支えていける環境づくりを目指しています。



障害者の豊かな社会経験を培うために 「本人活動支援事業・親子サロン」

（氷見市 手をつなぐ育成会）



計画した活動がコロナ禍で制限される中、「クリスマス会」や「フラワーアレンジメント体験」等を開催できました。
知的障害のある方が、様々な体験やボランティアとの交流を通して、楽しみながら高い社会性を身につける機会となりました。



健康維持と生きがいづくりのために 「高齢者作品展」

（滑川市 悠友クラブ滑川）



出品者の方々には、この作品展を目標に日ごろから頑張っている方が大勢いらっしゃいます。この事業が会員の健康維持と生きがいづくりのために、大きな役割を果たしています。皆さま方からの温かいご支援に、深く感謝申し上げます。



体験を通した自然環境保全への理解のために 「ツリーハウス・遊具整備事業」

（黒部市 阿古屋野森づくりクラブ）



阿古屋野台地の豊かな自然環境の中で、子どもたちにツリークライミング（木登り）やブランコなどを体験してもらいました。
コロナ禍で活動が制限される中、大変有意義な体験を提供することができました。皆様の温かいご支援に感謝いたします。



絵本を通した子育て支援のために 「子育て支援活動事業」

（砺波市 砺波ファーストブックの会）



会員が絵本の読み聞かせをし、絵本と赤ちゃんとの初めての出会いのきっかけを作る「ファーストブック活動」を行っています。おはなし会に役立つわらべ歌や手遊び、絵本の読み聞かせ方や絵本選びの研修も実施できました。ありがとうございました。



視覚障がい者の社会参加のために 「サウンドテーブルテニスでコミュニケーション」

（小矢部市 視覚障害者協会「あかつきの会」）



球の中の鈴の音を頼りに打ち合う視覚障がい者の卓球。体力強化とともに、会員同士の親睦が深まります。昨年、県大会に初参加し、更なる上達を目指しています。また、健康教室など社会参加のために赤い羽根の応援で活力を与えていただき、感謝しています。



自分らしく過ごす居場所づくりのために 「憩いのステーション 縁の木」

（南砺市 社会福祉協議会）



地域とのつながりが少ない方が「縁の木」での活動を通じて、地域へ踏み出すきっかけとなるよう取り組み始めました。
少しずつ参加者の自主性や協調性、意欲の変化がみられるようになりました。皆様からの温かいご支援に深く感謝いたします。



ボランティア活動推進のために 「会員交流会（講演会）」

（射水市 ボランティア連絡協議会）



助成金のおかげで、「美術セミナー」と「食と健康について」の2回会員交流会を開催できました。それぞれのセミナーの後、グループに分かれて意見交換をし、悩みや課題について話し合うことができました。これからも元気で活動できればと思っています。



地域交流および親睦を図るために 「地域交流事業」

（舟橋村 デイサービスむらのなか）



コロナ禍で開催できなかった毎年恒例の秋まつりの代わりに、開所8周年記念を行うことになり、助成金でバスケットを購入し、タオルや手作りの花束などを入れた記念品をスタッフと利用者が一緒に地域の1軒1軒を訪ねて手渡し、日頃の感謝の意をお伝えしました。



障害のある方の社会参加のために 「障害者地域啓発事業」

（上市町 ワークハウス剣）



日頃利用している駅や通道路の清掃・除雪をしました。いつも気にかけてくれている地域の人に貢献できたこと、清掃・除雪をしたことにより、声をかけてもらったり感謝してもらったり、社会の一員としての自覚ができたように思います。ありがとうございました。



居場所や多世代交流促進のために 「ふれあい地域食堂運営事業」

（立山町 社会福祉協議会）



本事業は、居場所づくりや多世代交流を目的として、地区社会福祉協議会や福祉団体と連携して開催しています。お楽しみイベントと地域食堂と一緒に開催するなど工夫を凝らし、交流の輪を広げることができました。温かいご支援をありがとうございます。



児童の地域交流のために 「施設・地域行事参加体験事業」

（入善町 町立黒東小学校PTA）



例年、障害者施設を訪問していましたが、2年度は4・5・6年生児童を中心に、運動会の鼓笛パレードで全校児童やその家族、地域の皆様に楽器演奏を披露しました。本事業で購入したキーボードにより、響きのある素敵な演奏となりました。ありがとうございました。



地域の福祉課題と向き合うために 「地域見守り支援事業」

（朝日町 社会福祉協議会）



町内の各地区で地域福祉懇談会を開催し、これまでの福祉課題の再確認と新たな課題の発掘、そして課題解決に向けての取り組みを話し合いました。参加された住民の皆様が福祉課題と向き合う機会となり、地区社会福祉協議会の活動活性化にもつながりました。

約7割が、あなたの町に届いています。

募金の約7割は、あなたの町を良くするために使われています。

残りの約3割は市町村を越えた広域での活動や災害時の備えなどに使われています。

